三十日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行人　岡田弘義
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷人　鈴木源吾
福島縣石城郡平町字町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（土曜、祭日休刊）

石城の縣議戰況

小野晋平氏辭退し 公認は井上氏に決す

古川・鈴木・山崎・井上氏共快諾

政友派豫選會に於て大多數を以て公認候補者に當選した小名濱町現縣會議員小野晋平氏は縣議在任中過去四年間に亘つて地方發展のため一身を犧牲にして奮闘した熱心な行動に對して地方民は多大の謝意を持ち今回再出馬に際しても當選確實の候補者に數へられてゐたが、地方の大問題である小名濱商港問題である小名濱鐵道問題は既に實現の曙光が認められたとは言へ今後益々熱心なる運動を行ふ必要あり、その速かなる實現を期するためには成る可く多數の同志を糾合する必要あり、而も小野氏は磐城水産工業株式會社其他に關係し極めて多忙な身であるから此際立候補を辭退して同志である山崎吉平、古川傳一、鈴木辰三郎等各氏に表面上の運動を依頼し小野氏としては背後にあつて運動を行ふため、立候補は見合はせて之を井上茂作氏に譲らうと決意し小名濱町民も氏の謙譲の美德を諒として之を諒解したので二十九日夜小野氏から幹事の下までその旨報告する處候補者は直ちに井上茂作氏に公認候補者たる事を交渉し直ちに快諾を得たので結局石城政友會の公認候補者は古川傳一、鈴木辰三郎、山崎吉平、井上茂作四氏に決定したわけである。

石城郡は 大混戰か

石城郡に於ける縣會議員候補者は政友會四名、民政黨三名の外中立を標榜する二三名もあり現在既に決定した者並に出馬の可能性ありと見らるゝ者は

▲政友派　古川傳一、小野晋平、山崎吉平、鈴木辰三郎

▲民政黨　野崎滿藏、若松美三、鷲清吉

▲中立　青沼鋒太郎、田子健吉

▲勞農黨　山代吉宗

▲日勞黨　廣瀬貞

以上合計十一名で、この外民政派に屬する泉村鈴木孝章氏も或は名乘りをあげるではないかとも言はれ結局定員六名に對し十一名内外即ち定員の二倍に達するわけで當然五名か六名の落選者を出す事になる關係から石城郡の選擧は縣下第一の大混戰を見るであらうと想像されてゐる。

鷲氏出馬の模樣なく 民政派候補は一人か

朝大平氏の養父逝く

民政派公認植田町鷲氏なく幹部間消防組頭鷲走中の模樣病弱の故を以で今度は現縣再出馬を促すゐた折柄三十日の養父兵助氏が歳の高齢で死去候補する事が出係で或は民政派野崎、若松兩氏だけになるでは鷲氏の起否如何は明三十一日中から起意ないかと言はれてゐる、兎に角忠現植田鷲氏に決定する筈である。可く奔何昇氏もゐるの郎氏に

石城郡の 有權者數

石城郡に於ける縣會議員選擧有權者數左の如く合計三萬四千八百廿二名で尚候補者の選擧費用は候補者定數六名を以て全有權者數を除し之に四十錢を乘じた筈で審査員は神尾、大山、稻田小塙の各技師である。

平　三七六五　湯本　一六八七
内郷　三八六三　飯野　六〇八
高久　四九二　夏井　五〇五
豊間　六五二　江名　六五九
小名濱　一五〇八　鹿島　三六〇
玉川　四四三　磐崎　一五六八
泉　七四七　渡邊　四〇五
植田　九九六　山田　六三三
錦　六五九　勿來　一三七二
川部　六五〇　上遠野　八七六
入遠野　八四八　國人　九一九
三阪　八一八　川前　六〇七
小川　八〇七　大野　八四〇
大浦　七八四　四倉　一三六
草野　八一八　神谷　六四五
平窪　六〇九　赤井　二一七八
好間　一五九四　永戸　九〇三
計　三四八三三名

三百圓見當である。

濃厚になつた 選擧氣分

石城郡地方では縣議戰に臨み愈よ政友、民政の兩派が何れも豫選會を終了して大体に於て候補者の顔觸れも發表されたので俄に選擧氣分が濃厚となり搗て加へて從來の有權者數に對し資格者は約數倍に達し一戸を構ねるので資格なきものはない程の有樣となつた爲め之れ迄比較的無關心でゐたもの迄有資格者となり濟まし選擧を論ずると言ふ樣な傾向となり何處の店先へ立つても選擧の話で持切る前景氣を爲めるからウカ〳〵候補者の身邊になど立入つて極論を試みると一寸來いとゐるから相互に注意が肝要である。

三村聯合 梨木品評會

大野、赤井、平窪聯合梨立木品評會は九月四日から四日間行ふ到底立つた關者數を除し之に四十錢を乘じた小塙の各技師である。

平局の敷地候補は 本町通り二ケ所

仙臺遞信局で實査 總工費は二十五万圓

局舍の腐朽狹隘から久しく新築移轉の必要に迫られてゐた平郵便局は工費廿五萬圓の豫算を以ていよ〳〵本年度に新築することとなりこの程仙臺遞信局から新井書記來平移轉敷地の調査をなしたが敷地は六百坪で町目貫の本町通り三丁目から四丁目の間において候補地二ケ所を選定して歸仙したが工費は敷地買收費坪當り平均百圓として六萬圓建築費十九萬圓で建築は耐震耐火の鐵筋コンクリートとし將來平町が市制を布いた曉電話交換機は現在の單式より復式に電話線を地下線とし得る樣に十分余裕ある設計をなす筈である。

賃貸價格 調査委員會

平稅務署管内四十萬筆餘に對する土地賃貸價格は過般中既にその調査賃貸價格は過般中既に調査を了したが縣會議員選擧前の爲め開會時期の告示を見なかつたが前記選擧の終了後來月廿七日頃より開會の豫定であると。

石城の農民 持米を手放す

石城郡地方の稻作は愈々豊作と見越されるに至つたので作柄如何を氣遣ひ買控へてゐた地主等も斯く見越のつきたる上は持越すが却て不利なりとして資急ぎの狀態となり相當繰りたる賣物過般來引續き紛擾中にある湯本大字湯本に於ける高木町長排斥の實行委員會は二十八日午後七時より同町寺院惣善寺に於て會しなが出席五十餘名、今後の對策に關する協議をなし七時閉會したと。

湯本町の 町長排斥

實行委員會

震災紀念 酒なしデー

平町では來月一日の關東震火災第四周年當日に於て最も緊張裡に當日を追憶記念する爲め日本國民禁酒同盟の希望に基く縣よりの通牒によつて左記申合せ事項の徹底を期すべく夫々壽策中であると。

一、九月一日に行はるべき公的會合に酒を用ゐざること
二、各個人戒めて酒を慎む事
三、印刷物配付、ポスター掲示により趣旨の徹底を圖ること
四、講演會、活動寫眞、路傍演說、行列その他の催し事により趣旨の徹底に努むること
五、ラヂオに趣旨の放送をなすこと

▲四倉町會　四倉町會は二十九日午前九時から召集し舊債借替の件及び追加豫算の件を附議した。

▲鈴木氏樺太行　磐城經濟新報社鈴木昌雄氏は樺太方面視察のため三十日午前二時下り急行で出發したが來る九月二十日歸平すると。

昨年と打つて變つて 既に四千貫の取引

理解されて來た四倉繭市場 尾形主事以下汗ダクで奔走

四倉繭市場は去る二十六日から開場し日を逐ふて繁忙を極めてゐる事廢報の如くであるが、第四日目なる二十九日の取引貫數は八百九十六貫四百四十匁、最高四十八圓五十錢、最低三十圓平均四十二圓九十錢で總價格三千八百五十一圓八十九錢に達した、買人は中村、片倉、片倉三春、林、四倉の各組である。尚は同市場の昨年成績と比較すれば、昨年は秋繭取引全部で四千貫であつたが今年は四日間で既に四千貫に達し閉鎖する九月十日頃までは一萬五千貫に達するは八百九十六貫四百四十匁、最安あらうと尾形産業主事の鼻息が頗る荒い。

▲巡査採用試驗　本縣に於ける兵庫縣巡査募集の試驗は九月十五日午前八時から平警察樓上に於て執行される筈。

植田の早大生 車夫に袋叩

二圓八十錢の勘

植田町早稲田大學本科二年生姪田一政（三〇）は多賀郡關本村岩花鑛泉酒井萬次郎方に靜養中二十八日午後六時頃常磐線關本驛前飲食店齊藤元義方に於て大津町人力車夫鈴木仙吉外數名と共に會飲し僅か二圓八十錢の勘定支拂の事より口論の末仙吉等の爲めに毆打され後頭部並に右足に重傷を負ひ入事不省に陥り加後四時まで東田一政（三〇）は多賀郡關本村岩野留春子女由花鑛泉酒井萬次郎方に靜養中二日、電燈カ、十八日午後六時頃常磐線關本驛扇子紐等ビ前飲食店齊藤元義方に於て大津く箸ヲ會費町人力車夫鈴木仙吉外數名と共は藤田女學に會飲し僅か二圓八十錢の勘定支拂の事より口論の末仙吉等の爲めに毆打され後頭部並に右足に重傷を負ひ入事不省に陥り加

川上

八事

二十九日午後五時四十分頃好間

題

聞社囑託
提袋、羽織紐
習會を開
、希望者
むべし

弁火

サホ方居住野村仙太郎（六一）は二十九日午後三時居宅前で薪割りをなし休憩中煙草を喫し其吸殻を傍らにあつた肌着に投げたのを知らずに肌着を鴨居にかけていた處、火が肌着から障子に燃え移り大事に至らんとしたのを家人が發見直ちに消し止めたが一時は大騒ぎであつた。

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平町南町
電話一七〇番

運送屋の盜伐事件公判

双葉郡夜の森驛前運送店營業佃野芳藏（五五）が本年春同字村井仁助所有の山林から約三百余圓の木材を盜伐した告訴された事件は其後平區裁判所檢事局に於て芳藏を未決拘留の上取調べ中であつたが三十日午前九時平區裁判所に於て石坂判事係り三笠檢事立會、平町眞木辯護士出廷列席の上開廷された。

一の井で 三十週年紀念

洋食一品十五錢

平町田町料理店一の井では創業三十週年を紀念する意味で來る九月一日から一ケ月間だけ利益を社會に提供する事になり洋食一品何品でも十五錢均一で賣出す事になつたが、同店で賣出す品は他洋食店の廉價ものと異なり從來のものを奉仕的に安賣する方針であるため一般から早くも期待されてゐる。

害者は逃走したので松原署で捜索中だが被害者は目下市原醫師の治療を受けて居る。

▲鈴木巡査赴任

平警察署赤井駐在所巡査鈴木留松氏は今回刑事となり川俣警察署に勤務する事になつた。

▲ビーズ手藝講習

平町藤田裁縫女學校では九月二日から五日間毎日午前九時から午

創業三十週年紀念謝恩
自信ある一の井洋食普及デー
九月一日より向一ケ月間に勤め致升
高級一洋食品 金十五錢 均一
洋式宴會 仕出し 一の井
平町田町（電話一六七番）

南町の小火

平町南町豆腐屋兼米穀商齊藤ミ村大字川中子字杉の内十六番地農井出清治方から發火し居宅一棟を燒失し午後六時四十分鎮火したが損害約九百圓、發火原因は清治の妻フユが飯焚中二男太（六ツ）が火のついた薪を持ち出し遊んでゐるうち軒下の柴木に点火したためであると。

最も新しいビーズ手藝講習會
一、講師　東京讀賣新聞社囑託野田春子先生外二名
二、日時　昭和二年九月二日より向ふ五日間午前九時より午後四時迄
三、場所　藤田女學校内
四、會費　一日金三十錢
五、申込所　平町田町　藤田女學校　ハシモトヤ糸店
六、講習科目　手提袋、ガマロ、電燈カバー帶止、羽織紐、扇子紐　其他
私立　平町（電話三二八番）　藤田裁縫女學校講習會

◎簡易の金融—誠意と堅實　◎趣味の貯蓄—共存と共榮
▲絶へず會員を募ります　▲何時でも御申込下さ
大藏省免許　磐城無盡商會　本店植田町本丁　支店平町中丁

◎夏の御家庭になくてはならぬ
專賣特許衛生試驗所證明　飲食品防腐器
御飯はスエヌ、醤油はカビヌ、酒はクサラヌ。
飲食物一切のクサリとカビ止器（一個三十錢）
平町四丁目　電話一四四　小野屋藥舗

滋養、强壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「粟守酒」
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店　大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢　平町一丁目（電六二四）

秋の御仕度
流行新柄　セール新荷着
紡績蒲團縞
木綿蒲團縞
蒲團綿
—農閑に取揃へました
平町三丁目　三井呉服店　電話三十八番

◆初ッ秋を飾る
セールとネル
新柄入荷致しました
夏物は此際大々的特價提供いたします。
買い良い店　中野呉服店　電話六七番

印刷物は　加納活版所

平町病醫院案内

内科外科 耳鼻咽喉科 花柳病科　高久病院　田町（電話一三五番）
内科 胃腸病科 梅毒科 淋病科　松村病院　南町（電話一〇七番）
外科 專門科　上田外科醫院　南町（電話一二九番）
外科一般 婦人科 耳鼻咽喉科　赤心堂病院　田町（電話四七五番）
眼科 專門科　吉田眼科醫院　紺屋町（電話六八番）
内科、外科 淋病、微毒科　藤沼醫院　紺屋町（電話五〇七番）
内科 外科 婦人科 小兒科 花柳病科　磐城病院　田町本通り（電話一一四番）
耳鼻 咽喉科　大和田醫院　南町（電話一七〇番）
齒科 專門科　原齒科醫院　土橋通り（電話三一番）